

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
推進校実施報告書

- 1 学校名：岩手県釜石市立釜石小学校
- 2 実施日時：2018（平成 30）年 12 月 14 日（金）10:50-13:00
- 3 対象：児童 130 名（全校）
- 4 派遣パラリンピアン：星 奈津美 さん

（競泳 ロンドンオリンピック 銅メダル、リオデジャネイロオリンピック 銅メダル）

- 5 授業内容：講演、実技指導、交流

2018（平成 30）年 12 月 14 日（金）に、岩手県釜石市立釜石小学校にて、オリンピック・パラリンピック教育実践が行われました。今回の実践では、競泳のオリンピックである星奈津美さんをお招きし、講演および実技指導と、給食の時間での交流が行われました。

星さんの講演に先立ち、担当の先生からオリンピックやパラリンピックに関するお話がありました。また、講演当日までの給食時には、オリンピックやパラリンピックをトピックとして扱った昼の校内放送も行ってたそうです。さらに、講演後にも、車いす陸上の副島さんをモデルにした DVD の鑑賞を行う予定とのことでした。

星さんは 1 歳半でプールに行き始め、小学校 3 年生のときから、オリンピックに出場したいという夢を持つようになったそうです。初めてオリンピックに出場したのは、北京大会で、その後のロンドン大会およびリオデジャネイロ大会で、2 大会連続の銅メダルを獲得しました。

講演のはじめに、星さんのレースを見ていた人がいるか問いかけがあると、10 人程度の児童が手を挙げており、星さんは嬉しそうな様子でした。第 1 回のオリンピックやパラリンピックがあった年はいつだったかという、星さんから出題されたクイズでは多くの児童が正解しており、昼の校内放送等による事前の学習に児童が興味を抱いていたことがうかがえました。クイズの後には、オリンピックの選手村がどんなところかということが紹介されました。ファストフード店も無料だという話には、児童から歓声が驚きの声があがっていました。競泳のプールの深さや広さについてもクイズが出されましたが、近隣に公式プールがあるとのこと、多くの児童が正解していました。

競技生活に心がけていたこととして、星さんは 2 つのことをお話しされました。1 つ目が、できることを考えて自主的に行動するということです。常に自分に足りないものと考えて実行するようにしていたといいます。そして、2 つ目が、1 日の終わりに後悔を残さないようにするということです。あの時やっておけば良かったという後悔がないよう、力を出し切るようにしていたといいます。

そして最後に、オリンピックやパラリンピックへの関わり方として、「する」「みる」「支える」「知る」という 4 つを挙げ、是非もっとスポーツを好きになって欲しい、オリンピックやパラリンピックも楽しみにしていて欲しいとお話しされました。

講演の後には、星さんが現役時代にやっていたストレッチの実技指導が行われました。足首や股関節のストレッチ、また、肩甲骨周りのエクササイズが紹介され、児童は星さんや、前で見本を見せている代表児童の真似を

しながら、熱心に取り組んでいました。実技指導のあとには、星さんにとって印象的だった5つのレースをまとめたVTRを鑑賞しました。レースが終わるごとに会場からは拍手が起こっていました。1日1日を大切にしよう、プロセスで全力を出し切ることでどんな結果でも受け入れられる、という星さんの言葉を、児童はしっかりと受け止めている様子でした。質疑応答の時間には、バタフライが早くなるためのポイントや、水泳が上手くなるための方法について質問があり、星さんは1つ1つに丁寧に答えていました。全員での写真撮影を最後に行い、体育館での講演は終了となりました。

給食時には、4～6年生の教室を星さんが回り、児童と交流を深めました。体育館では質問できなかったことを質問したり、星さんと握手や背比べをして、児童は非常に嬉しそうな様子でした。水泳や他のスポーツに熱心に励んでいる児童も多いとのことで、星さんとの交流が今後のモチベーションにつながるだろうと感じられる時間でした。

## 6 授業の様子



【 担当の先生による導入 】



【 講演 】



【 ストレッチの実技指導 】



【 レースVTRの鑑賞 】



【 記念撮影 】



【 給食時の交流 】